

授業科目(ナンバリング)		道徳教育論 (QA224)		担当教員 担当形態		木村 勝彦 単独			
教員免許状取得のための選択の別	①中学校及び栄養教諭：必修 ②高等学校：選択	単位数	2単位	開講年次	2年	展開方法	講義	開設時期	後期
科目	教職に関する科目(教育課程及び指導法に関する科目)…中学校 教職に関する科目(教育課程に関する科目)…栄養教諭								
各科目に含めることが必要な事項	道徳の指導法(中学校) 道徳及び特別活動に関する内容(栄養教諭)								
授業のねらい								アクティブラーニングの類型	
教職を志す者は道徳的な問題意識を高め、児童・生徒の「人格形成」に関わる道徳教育の必要性を自覚しなければならない。この授業ではまず、道徳教育の主要な理論と歴史について理解することを目指す。その上で、学校教育における道徳教育の意義や課題を十分に理解し、道徳科の指導に活かし得るような内容と指導方法についての基本的理解を身につけることが最終的な到達目標である。								⑤⑥⑩	
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法		評価比率	
専門力	中学校の道徳科に関する専門用語、概念及び授業方法を説明することができる。					・定期試験(レポート)		10%	
情報収集、分析力	中学校の道徳科について、十分な教材研究に基づき確かな学習指導案を作成することができる。					・学習指導案の作成		30%	
コミュニケーション力	自己の作成した学習指導案を明瞭に発表し、それをめぐる質疑応答に意欲的に参加することができる。					・学習指導案の作成・発表 ・授業態度		20% 10%	
協働・課題解決力	道徳科の指導における問題点についての共通理解を通じて、学校教育の現場における課題の発見と解決に寄与することができる。					・学習指導案の作成・発表 ・授業態度		10% 10%	
多様性理解力	中学校の道徳科の指導において、教員としてどのような規範意識と資質能力が求められているかを理解することができる。					・定期試験(レポート)		10%	
出席						受験要件			
合計						100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明									
評価は学習指導案の作成・発表60%、授業態度20%、および定期試験(レポート)20%により行うものとする。学習指導案の作成・発表は、中学校道徳科の教材研究を十分にを行い、的確な学習指導案を作成し、明瞭に発表し得ているかを評価基準とする。授業態度は学習指導案の発表をめぐる質疑応答への参加度を評価する。定期試験(レポート)は、授業での指摘を受けて改訂した学習指導案のレポートとしての提出と内容により評価する。なお、フィードバックは授業のなかで適宜行う。									
授業の概要									
この授業ではまず、道徳教育の基本的な問題と意義、道徳教育の主要な理論と歴史を概観する。次に道徳教育の教材を検討した上で、受講生各人が作成した学習指導案の発表とそれをめぐる討論によって授業を進めていく。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。									
教科書・参考書									
教科書：文部科学省『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説―道徳編―』財務省印刷局 参考書：山崎秀則・西村正登編著『道徳と心の教育』ミネルヴァ書房 指定図書：山崎秀則・西村正登編著『道徳と心の教育』ミネルヴァ書房									
授業外における学修及び学生に期待すること									
道徳教育論である以上、受講生自身の道徳的向上に対するひたむきさが不可欠である。発表当日担当の無断欠席や日頃の欠席・遅刻、無気力な受講態度などは、教職を志す者として絶対に許されない。教育に対する熱意と、道徳的な問題に対する積極的な関心をもって授業に臨んで欲しい。教職志望者としての自覚と積極性を要求する。									

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	導入—道徳とは何か	この授業の導入として、道徳の本質（道徳とは何か）について概説する。	道徳の本質に関する整理・復習 道徳教育の特質の予習
2	道徳教育とは何か	道徳教育とは何かについて、子どもの心の成長や道徳性の発達という視点から考察する。	道徳教育の特質に関する整理・復習 学校教育の予習
3	道徳教育の意義	いじめや情報モラル等の課題と結びつけながら、学校教育全体における道徳教育の意義について考察する。	道徳教育の意義に関する整理・復習 ルソー、カント等の予習
4	道徳教育の歴史(1)	西洋教育史における主要な道徳教育理論のなかから、ロック、ルソー、カントの教育理論について考察する。	ロック、ルソー、カントに関する整理・復習 ペスタロッチ等の予習
5	道徳教育の歴史(2)	シュライエルマッハー、ペスタロッチ、フレーベルの教育理論について考察する。	ペスタロッチ、フレーベル等に関する整理・復習 デューイ等の予習
6	道徳教育の歴史(3)	シュタイナー、モンテッソーリ、デューイ、コールバーグの教育理論について考察する。	デューイ、コールバーグ等に関する整理・復習 日本の道徳教育史の予習
7	道徳教育の歴史(4)	近代日本の修身教育及び戦後の道徳教育導入の経緯を中心に、日本の道徳教育の歴史について考察する。	日本の道徳教育史に関する整理・復習 道徳科の指導計画の予習
8	道徳科の指導計画	学校の教育活動全体を通じた道徳の指導と、道徳科の指導計画の立て方について考察する。	道徳科の指導計画に関する整理・復習 道徳科の教材選択の予習
9	道徳科の教材	道徳教育の教材としては、発達段階や教育課題に即してどのようなものを選択すべきかについて考察する。	道徳科の教材選択に関する整理・復習 道徳科の指導方法の予習
10	道徳科の指導方法	選択した教材をもとに、実際の道徳科の授業ではどのような指導方法が求められるかについて考察する。	道徳科の指導方法に関する整理・復習 学習指導案の作成
11	学習指導案の研究(1)	受講生による学習指導案の発表と討論により、特に「ねらい」「生徒観・指導観」の書き方を検討する。	「ねらい」「生徒観・指導観」に関する整理・復習 学習指導案の作成
12	学習指導案の研究(2)	受講生による学習指導案の発表と討論により、特に「導入」の書き方と指導方法を検討する。	「導入」の書き方と指導法に関する整理・復習 学習指導案の作成
13	学習指導案の作成(3)	受講生による学習指導案の発表と討論により、特に「展開」の書き方と指導方法を検討する。	「展開」の書き方と指導方法に関する整理・復習 学習指導案の作成
14	学習指導案の作成(4)	受講生による学習指導案の発表と討論により、特に「整理」「評価の視点」の書き方と指導方法を検討する。	「整理」等の書き方と指導法に関する整理・復習 学習指導案の仕上げ
15	まとめ	授業全体を振り返り、道徳科の授業の改善に関する視点の必要性について考察する。	授業全体についての振り返りと整理
16	定期試験	筆記試験	試験の準備学修